

## 令和2年度事業報告 令和2年4月1日～令和3年3月31日

月	事業内容 (明朝体は役員会実施分、※は事務局コメント)
全体	<p>避難訓練の計画と実施。渭北地区津波避難計画をはじめとする防災情報の周知徹底。各第2月曜日に役員会。避難所運営委員会の運営と研修。避難所運営マニュアルの改訂。各種の防災講習会、研修会に参加。自主防役員の研修会。7避難所の備蓄資機材の整備。</p> <p>※年度を通じてコロナ禍のため予定していた事業の実施に困難を極めた。多くの事業や研修会参加が中止になったことは残念である。避難所における感染症対策については県市によるガイドラインが公表されたため、渭北地区避難所マニュアルについても感染症の予防に重点を置いた方策に変更を行った。資機材の補充や訓練時の記念品配布についても主に避難所や各世帯における感染症予防用品を購入した。</p>
4月	<p>令和1年度会計帳簿及び事業の点検（監査資料の原案作成と今後の方向性を協議）。令和2年度事業計画案と予算案の立案。防火防災会地区別役員構成（1～10区）の見直し。</p> <p>（以上、28日役員会にて。5月の通常代議員総会の実施・中止を協議。コロナの感染状況によって決定する事の申し合わせ。）令和1年度会計帳簿の監査（監査委員に名2名により、8日コミセンにて実施）</p>
5月	<p>通常代議員総会（※中止したが、議案書を各協力会に配布し、文書協議・書面回答により議案可決）。渭北地区津波避難計画の周知（全町内会に文書回覧、概要版冊子の配布）。防火防災協力会の正会員会費の納入案内を総会議案書に添付して配布。ファーストミッションボックス（以後FMB）の作成に着手（7避難所の開設を容易にする方策を検討）。</p>
6月	<p>防災資機材購入計画を修正（コロナ禍の状況による防災訓練の実施・中止に合わせて立案する事とした）。徳島市消防局の訓練補助対象事業の申請手続き（同じくコロナ禍の状況判断として延期を決定）。各種の講習会に参加（取り止めで参加できない研修会が多かった）。防災倉庫の整備点検（日枝神社、八幡神社、三本松公園倉庫）。</p> <p>特別会員（地区内事業所）の会費徴収を開始（案内の郵送と役員による徴収割当を協議）。</p>
7月	<p>防災センターでの避難訓練に参加。地域防災推進員の養成を図る（防災士資格の取得案内を周知し受講者の募集）。自主防役員の研修会実施（コロナ禍による活動の修正を協議した）。FMBの試案を完成し、7避難所に配備（徳島新聞の取材を受け、掲載された）。</p>
8月	<p>徳島市防災研修に参加（グランヴィリ村にて防災シンポジウム）。特別会員（地区内事業所）の会費の徴収を開始。町内会連合会と協同して地区内マンション居住者に入会を案内（助任本町に建設中のマンションが一括加入していただけることになった）。</p>
9月	<p>「とくしまシェイクアウト」に参加（1日 10:00am、県民一斉防災行動訓練）。県・市危機管理課・消防局等よりの各講習会への参加を呼び掛け（正会員、役員、地区内防災士に</p>

	案内)。防災倉庫の整備点検。防災担当大臣表彰を受賞（コミセンにて伝達式）。
10月	渭北地区内の学校と防災研修会（地区内小中学校の職員との研修を計画したがコロナ禍により三密回避で中止）。防災に関する研修会・講演会（徳島大学による防災カフェ、防災センターの研修会に役員が参加）。徳島市消防局の訓練補助対象事業の申請手続き（コロナ禍の状況判断により、蜜を避け短時間で訓練を行うこと、避難所運営委員のための感染症予防研修を行うこととして12月に実施を決行）。
11月	防災倉庫の整備点検と資機材の補充（第1～3倉庫、コミセン防災倉庫）。渭北避難所連絡協議会の開催（※7避難所の運営委員代表者による協議会だが、中止）。防災研修会に参加（徳島市役所にて感染症対策を重点とした避難所開設についての研修を受けた）。
12月	渭北避難所運営マニュアルの改訂検討会（感染症対策の強化により、市マニュアルも変更されたため抜本的な見直しに着手）。自主防役員の研修会実施（防災訓練の運営方法を協議）。徳島大学常三島体育館で渭北地区全体の総合防災訓練（27日、200名弱が参加、三蜜を避け一般来場者は場所確認と記念品配布のみ、及び徳島大学避難所運営委員を中心に市危機管理局・日赤職員による感染症対策に重点をおいた避難所受付設営の講習）。
1月	消防出初式に参加（※中止、これに伴う渭北消防分団との交流会も中止）。鳴門教育大附属特別支援学校にて講習（28日、職員対象に渭北地区の防災体制を講義）。
2月	防災倉庫の整備点検（賞味期限切れ食料の入れ替え、感染症対策備品の購入と補充）。快適避難所運営訓練に参加（2名、県防災センターにて2日間）。
3月	徳島市危機管理局により7避難所にパーティション・アルミマット・感染症対策キットが配備された。令和2年度の諸帳簿整備。次年度の課題を点検し、問題点の洗い出しを行った。次年度はコロナ禍の状況をみながら例年通りの事業を行うことを決議。

徳島大学における防災訓練の様子（令和2年12月27日10:00amより、徳島大学体育館にて。約200名が来場し、避難所の場所確認と役員の感染症対策研修を行った。）



来場者の受付・記念品の配布



日赤職員による感染症予防の講習